

1 液反応硬化形シリコン変性樹脂屋根用塗料



シリコンルーフⅡ

更なる進化を遂げたシリコンルーフⅡ



特長

1 美しい仕上がり

高光沢・肉持ち感を持つつや有りとしなやかな色のつや消しをラインナップ。高級感のある美しい仕上がりになります。

2 強靱な塗膜

積雪、降雪などの厳しい自然環境に耐える、高い耐久性があります。

※シリコンルーフⅡつや消しには、1液ルーフ低温硬化促進剤は使用できません。つや異常、つやむら発生の原因となります。

3 冬場の施工も安心

速乾タイプなので、冬場の塗装においても高い作業性・光沢感が得られます。

4 便利な1液タイプ

硬化剤を入れる手間や残ネタのムダがない便利な1液タイプです。

5 豊富な色数

常備色25色の豊富な色展開により、街の景観を豊かに彩ることができます。

※つや消しはシルバーを除く24色展開です。

6 幅広い下地適性

トタン屋根だけでなく、住宅用化粧スレート屋根や波形スレート屋根にも塗装可能です。

標準塗装仕様 鋼板屋根、トタン屋根 塗り替え

工 程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥 時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下 地 調 整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒などで除去する。溶接部のさびは、電動工具で除去する。油脂分、水分は溶剤ふきを行い清浄な面とする。						
下 塗 り	ハイポンスルーフェクロ または 1液ハイボンファインデクロ	1	0.13～0.15	4時間以上 7日以内	塗料用 シンナー A	5～10	はけ、ウールローラー
上 塗 り	シリコンルーフⅡ	2	0.12～0.14	2時間以上	塗料用 シンナー A	5～15	はけ、ウールローラー、 エアレススプレー

注) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注) 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

注) シルバー色の使用量は0.07～0.10 (kg/㎡/回)、希釈率は0～10 (%)となります。

注) つや調整品は、つやむら抑制、隠れい確保のため、必ず上塗り2回塗装してください。

標準塗装仕様 住宅用化粧スレート屋根、波形スレート屋根 塗り替え

工 程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥 時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下 地 調 整	ごみ、ほこり、かび、こけ、藻など、付着物は入念に除去する。素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm ²)以上の高圧水洗が望ましいが、高圧水洗ができない場合はホースで水を流しながら金属ワイヤーブラシなどを用いて清掃する。水洗後は翌日まで乾燥させる。旧塗膜がある場合は、浮いたり、割れたり、膨れたりしている劣化塗膜、露出している着色セメント層を入念に除去する。十分に付着している活膜は残してよい。						
下 塗 り	2液 ファイン浸透造膜シーラー※4	1～2 ※1	0.16～0.20	4時間以上7日以内※2	無希釈 ※3	—	はけ、ウールローラー、 エアレススプレー
	2液 ファイン浸透シーラー(透明/ホワイト)		0.15～0.30	4時間以上5日以内※2			
	1液 1液ベストシーラー		0.15～0.30	3時間以上7日以内※2			
	1液 ファインパーフェクトベスト強化シーラー	1※1	0.15～0.30	4時間以上5日以内※2			
上 塗 り	シリコンルーフⅡ	2	0.15～0.18	2時間以上	塗料用 シンナー A	5～15	はけ、ウールローラー、 エアレススプレー
縁 切 り	水切り部で化粧スレートの上下の重なり部分が塗料でつまっている箇所は縁切りを行う。						

注) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注) 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。注) シーラーの適用についての詳細な仕様については、別途「スレート屋根用塗料シリーズ」のカタログをご覧ください。

注) つや調整品は、つやむら抑制、隠れい確保のため、必ず上塗り2回塗装してください。

※1 シーラーは、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗付してください。

※2 「1液ベストシーラー」「ファインパーフェクトベスト強化シーラー」「ファイン浸透シーラー」「ファイン浸透造膜シーラー」は、高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※3 少しでも希釈すると付着性が低下します。

※4 吸い込みが少ない素地や下地の場合には、乾燥不良による縮みや膨れが起こる可能性がありますので、各工程間の乾燥時間は十分長めにとってください。

ニッペ シリコンルーフⅡ

本製品は、塗料配合中に鉛・クロムを含みません。

商品体系	
塗料名	ニッペシリコンルーフⅡ
系統	1 液反応硬化形シリコン変性樹脂屋根用塗料
容量	14kg、7kg*
色相	14kg：常備色 25 色、7kg*：常備色 12 色
つや	つや有り／つや消し

・色相については、色見本帳をご用意していますのでご覧ください。
・シルバー色は乾燥後でも塗膜をこすると、アルミニウムがとれる場合があります。
※つや消しはシルバーを除く 24 色。容量は 14kg のみとなります。

適用下地

- 鋼板屋根 ● トタン屋根
- 住宅用化粧スレート屋根 ● 波形スレート屋根

施工上の注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などでご確認ください。）

○ 鋼板屋根、トタン屋根 塗り替え

- 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量を塗装してください。
- ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- なみがたトタンの山の部分やトタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、膜が薄くなりがちです。先に拾い塗りするのが長持ちさせるコツです。
- 塗り重ねは規定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。硬化が不十分な場合は、塗料シンナーで再溶解するおそれがあります。
- トタン素地が見えている所、さびの生じている所はケレン後、必ずさび止め塗料を塗装してください。使用できるさび止め塗料については、各塗装仕様書をご参照ください。
- 鉛酸カルシウムさび止め (JIS K 5629) は、下塗りに使用しないでください。
- 塩ビ・ポリ銅板の上の塗装は、避けてください。ただし、経年でつやが引けているような塩ビ・ポリ銅板に対しては、変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに使用することで塗装できる場合があります。詳細は事前にご相談ください。
- 低温、または高温時に塗装し、未乾燥状態で夜露などにあたると、つや引けを起こすおそれがあります。
- 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部にこすり付けるように増し塗りを行ってください。
- 秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期には結露によるつや引け現象が起こりやすいため、午後 3 時以降の塗装は避けてください。
- 塗り替え直後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますのでご注意ください。
- さびは、ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合（例：1 回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など）2 回目の上塗りが 1 回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色（ブリードにより）する場合がありますのでご注意ください。

○ 住宅用化粧スレート屋根、波形スレート屋根 塗り替え

- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。（光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因になります。）
- 水洗い後は、1 日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。（光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因となります。）
- 下地調整が不十分だと塗膜ははく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ 9.8MPa（＝100kgf/cm²）以上の高圧水洗が金属ワイヤーブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- 経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、ニッペファインパーフェクトベスト強化シーラー、またはニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ニッペファインパーフェクトベスト強化シーラーをご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する事があります。試し塗りなどで確認の上、本施工を行ってください。
- 水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が付着し詰まっていると、漏水の原因になります。皮スキ、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
- 粘土瓦（いびし瓦、釉薬瓦など）には使用しないでください。なお、洋風コンクリート瓦については、最寄りの営業所にご相談ください。
- シーラー類、サフェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- 下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。

乾燥時間

塗装場所の気温	5～10℃	23℃	30℃
指触乾燥	90 分	40 分	30 分
塗り重ね乾燥	6 時間以上	2 時間以上	2 時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

用途

- 戸建住宅 ● 各種工場 ● 体育館 ● 公共施設 など

○ つや消しの場合

- つや調整品では、つやむらが出やすいので、必ず上塗を 2 回塗装してください。
- つや調整品は 1 液ルーフ低温硬化促進剤は使用できません。つや異常、つやむら発生の要因となります。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすすみと本来のつやが発現しないおそれがありますので規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。

○ 共通

- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- 塗装場所の気温が 5℃未満、もしくは湿度 85% 以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 淡彩色および鮮やかな色相では、隠ぺい性が低い場合があります。下塗りに同系統の色相を選定し、事前に試し塗りをして確認してください。特にスレート屋根にて下地と異なる色相に塗り替える場合は、ご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。
- ローラー、ハケなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、ハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈殿している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈殿物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■製品の安全に関する詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前にご相談ください。■ご使用の際には必ず各製品使用説明書をご確認ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.
●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-C038

TY240303T

2024年3月現在